

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	基礎柔道整復学3	講義	1	40	柔道整復学全般
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科・1年	南沢 悟	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>多様化する社会において柔道整復師の役割も変化してきている。機能訓練指導員の専門性を活かし、障がい者を評価、社会福祉分野における柔道整復師の専門性を活かせる領域を模索する。器質的な問題を踏まえながらのスポーツサポートの問題点、改善点も検討する。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>【助言】 各障がいにおいて異なる症状をお持ちのため、部分的に基礎疾患系の知識(リハビリテーション医学)を学んでおく必要がある。 運動器(特に骨)の解剖学の知識が必要となってきます。基本的な骨の名称、部位名の復習を行う。</p> <p>【学習支援】 レポート作成と、出席率を重要視します。提出物の提出期限と、欠席回数に注意する。</p>					
教科書・参考書					
柔道整復学 理論編・実技編					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●礼節を重んじ「授業前の準備(パソコンとプロジェクター)」「授業開始・終了時のあいさつ」「教室使用後の清掃」を確実にを行うようして下さい。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	・授業への出席率とレポートを作成し評価および定期試験にて評価する。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1	4/12	・障がい者スポーツの意義と理念 (障がい者スポーツの理念(Drグッドマンの考え方や功績、実践上・指導上の理念))		/	南沢
2	4/19	・コミュニケーションスキルの基礎 (障がい特性に応じたコミュニケーション方法 実践、演習を通して人前で話すこと、相手の意見を傾聴することを体験)		/	南沢
3	4/26	・障がい者スポーツ推進の取り組み (障がい者スポーツ指導者制度の概要 地域の障がい者スポーツ協会や指導者協議会について)		/	南沢
4	5/10	・障がい者スポーツに関する諸施策 障がい者福祉施策とその変遷		/	南沢
5	5/17	・安全管理 (スポーツ指導者の安全配慮義務 基礎的な対処法について (救命手当、応急手当、AED、CPR等))		/	南沢
6	5/24	・各障がいの理解① 身体障がい (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む)		/	南沢
7	5/31	・各障がいの理解② 身体障がい (肢体不自由、視覚障がい、聴覚・音声言語障がい、内部障がいを含む)		/	南沢
8	6/7	・各障がいの理解③ 知的障がい (発達障がいを含む)		/	南沢
9	6/14	・各障がいの理解④ 精神障がい		/	南沢
10	6/21	・スポーツのインテグリティと指導者に求められる資質 (ボランティアの魅力、ボランティアの心得、留意点)		/	南沢

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11	6/28	<ul style="list-style-type: none"> •全国障害者スポーツ大会の概要 全国障害者スポーツ大会の歴史、開催の意義・目的 大会競技規則の原則(基準要綱、基本方針など) 		/	南沢
12	7/5	<ul style="list-style-type: none"> •障がいのある人との交流 障がい者にとってのスポーツの必要性、意義や価値について 		/	南沢
13	7/12	<ul style="list-style-type: none"> •各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫① 各種障がい特性に応じた工夫の基本的な視点と方法 		/	南沢
14	7/19	<ul style="list-style-type: none"> •各障がいのスポーツ指導上の留意点と工夫② 実技、実習、演習を通して、用具やルールの工夫や考え方を学ぶ 		/	南沢
15	7/26	<ul style="list-style-type: none"> •柔道整復師の沿革 柔道整復術の基本概念 		/	南沢
前期試験					
16	8/2	<ul style="list-style-type: none"> •自己管理に対する指導 患者とのコミュニケーションおよび対面時にまもるべきルール・話方 		/	南沢
17	8/9	<ul style="list-style-type: none"> •的確な判断と医療連携 業務範囲内における対応範囲および業務範囲外における判断基準・評価法 		/	南沢
18	9/6	<ul style="list-style-type: none"> •外傷予防 バイタルサインを理解し、コンディショニングにおけるパフォーマンスの変化を把握する 		/	南沢
19	9/20	<ul style="list-style-type: none"> •特異的予防 外傷が発生しやすい活動の理解と予防への取り組みおよび報連相 		/	南沢
20	9/27	<ul style="list-style-type: none"> •まとめ 		/	南沢